

2009年5月19日

報道関係各位

**カプセル内視鏡のパイオニア ギブン・イメージング社
ギブン画像診断システム専用の新ソフトウェア「RAPID[®] 5 Access」
5月11日より発売開始
画像調整(ブルーモード)、粘膜損傷度スコア化(ルイススコア)などの新機能
内視鏡検査画像システムを通じた病院情報システムとの連携**

ギブン・イメージング株式会社(本社/東京都千代田区、社長/笈川義徳)は、カプセル内視鏡 PillCam[®] SB が撮像した画像を診断するギブン画像診断システム専用のソフトウェア「RAPID[®] 5 Access」を、2009年5月11日より販売を開始いたします。

RAPID[®] 5 Access は、従来の RAPID[®]ソフトウェアに下記の新機能を追加し、診断支援機能や作業効率をアップする下記の機能を搭載しています。

■ 画像調整機能(ブルーモード)

カプセル内視鏡 PillCam[®] SB の撮像画像の輪郭強調や明るさ、色度の調整に加え、赤色の病変を観察しやすくするためのブルーモードを搭載しています。



■ 粘膜損傷度スコア機能(ルイススコア)

患者様の小腸粘膜の損傷度合いを点数化し、定量的な評価を支援する機能です。



■ 検査データ管理ツール:スタディマネジャー

検査データを外部メディアや指定フォルダへ保存するデータのエクスポート機能、任意設定による検査データのソート機能、オンライン検査データの一覧表示、各検査データの所見やレポートの一覧表示を搭載した管理ツールです。

■ RAPID® ワークステーションと内視鏡検査画像管理システムを通じた病院情報システムとの連携

「RAPID® 5 Access」搭載のワークステーション「RAPID® ワークステーション」は、内視鏡検査画像管理システム(ファイリングシステム)と接続し、電子カルテ、医用画像情報システムなどの院内ネットワーク(病院情報システム)との連携が可能となります。



この「RAPID® 5 Access」は、5月21日(木)から23日(土)まで、名古屋国際会議場で開催される「第77回日本消化器内視鏡学会総会(JGES)」に初展示いたします。

ギブン・イメージング社について

ギブン・イメージング社は、2001年から、PillCam®プラットフォームのコンセプトを基盤とした革新的で患者様に優しい先進的な消化管診断ツールを提供しています。PillCam® SBは小腸、PillCam® ESOは食道、PillCam® COLONは大腸の自然のままの消化管画像を提供します。PillCam® カプセル内視鏡は、患者様が嚥下するカプセル型の小型ビデオカメラです。ギブン・イメージング社では、他にもカプセル型製品を販売しております。PillCam®カプセル内視鏡が消化管を通過できるかどうか、開通性をみるためのAGILE、胃食道逆流症(GERD)のpH検査に使用する医療機器としては、カテーテルを使用しない唯一のワイヤレス48時間pH検査システムのBravo®があります。ギブン・イメージング社の製品は、最先端のワイヤレス通信技術とソフトウェアを使用することにより、より正確な消化管疾患の診断を可能とし、患者様には、より適切な治療を実現することができます。全てのギブン・イメージング社の製品は低侵襲性で、かつ無拘束であり、患者様は検査中も日常生活を送ることが可能です。ギブン・イメージング社の本社、工場、研究開発施設は、イスラエルのヨクナムにあり、アメリカ、ドイツ、フランス、日本、オーストラリア、シンガポールに子会社があります。

さらに詳しい情報が知りたい方はこちらをご覧ください。<http://www.givenimaging.com>.



Press Release

日本法人 ギブン・イメージング株式会社について

ギブン・イメージング株式会社(東京都千代田区、社長: 笈川義徳)は、世界で初めてカプセル内視鏡を開発し、現在世界のカプセル内視鏡市場における圧倒的なシェアと豊富な経験を持つギブン・イメージング社(Given Imaging Ltd. 2001年 NASDAQ 上場)の日本法人であり、日本におけるカプセル内視鏡の製造販売会社です。

<ホームページ>

<http://www.givenimaging.co.jp>

注) 日本では、PillCam® SB カプセル内視鏡(小腸用)のみ、承認、販売されています。また国により適応が異なります。米国では大腸用の PillCam COLON は認可されていません。